

ベルマーク新聞 10月号

発行 公益財団法人ベルマーク教育助成財団 東京都墨田区両国3-25-5 JET両国ビル9階 〒130-0026 電話 03-5638-2320(代表)
郵便振替口座 00100-7-56035 ホームページ <https://www.bellmark.or.jp/>

運動への理解と共感、デザインに

第72回朝日広告賞、一般公募の部の応募作品



- 〈作品名〉
- ①あなたの身近にあるマーク
 - ②ベルは、おカネです。
 - ③④学ベル／遊ベル
 - ⑤⑥⑦に、なる。
 - ⑧きみのあそびが、またふえた。
 - ⑨日常
 - ⑩交換できる、夢がある。
 - ⑪ベルも積もれば
 - ⑫良い行いは、きっと誰かが見ているよ。

「第72回朝日広告賞〈一般公募〉」で、ベルマーク財団の課題に寄せられた作品をいくつか紹介します。ベルマーク運動を広告デザインで表現した力作をご覧ください。

新聞広告のデザインを競う、伝統あるコンテスト「朝日広告賞」は、一般公募

の部で、企業・団体などから出された課題をもとに、若手クリエイターたちが腕をふるって制作します。

ベルマーク財団も課題を出しており、「ベルマーク運動への理解と共感を誘う広告」で「ベルマーク運動は誰にでも出来て、子どもたちの未来を応援する社会

貢献活動であることを表現してください」とお願いしました。

写真は賞の事務局からお借りしました。新聞広告の特性を考え、様々な工夫を凝らした作品がそろい、クリエイターたちの感性が光ります。課題への応募、ありがとうございました。

朝日広告賞は1952年の創設以来、優れた新聞広告を顕彰し、若手クリエイターの育成と広告文化の発展に寄与してきました。今回の入賞作品は今年7月6日に発表されています。詳細は朝日広告賞公式サイトをご覧ください。

東北3県への支援、今年度も実施

106校に計600万円相当、2面に支援校リスト

東日本大震災の発生から13年が経ちました。被災した地域では現在もなお、復興への取り組みが続いています。ベルマーク財団は2024年度も岩手・宮城・福島各県の小・中学校への支援を継続します。支援先は計106校、支援総額は計600万円相当です。

支援先については、例年と同じように、各県の校長会にリストの提供をお願いしました。その結果、計106校から支援を求める声が届きました。

106校の内訳は、岩手県は小学校28、中学校22、宮

城県は小学校10、中学校25、福島県は小学校10、中学校11です。福島県の小学校は、2校が一つの校舎で学ぶケースが現在も残っていますが、1校として数えました。2面に支援先のリストを掲載しています。各県とも、小・中学校それぞれに100万円相当ずつの支援です。学校生活に必要な備品・教材の購入や、児童・生徒の移動手段となるバス代に充てられます。

これらの小・中学校への支援に加えて、東日本大震災の教訓から災害に強い学校づくりを目指す宮城教育大学

の「防災教育研修機構」や、福島と水俣の中学生交流事業への助成を実施します。

支援の原資は、ベルマーク運動参加団体からの友愛援助寄付、全国各地から届く寄贈マーク、ウェブベルマーク協会からの助成金、そして参加団体の日々のベルマーク活動から生み出された支援金です。

このような支援は、ベルマークを集めて送ってくださる皆さんの活動があって成り立っています。今後も子どもたちに喜んでもらえるように、支援を続けていきます。